

臨床研究情報公開文書 (東海中央病院で実施する医学系研究)

2017年6月13日作成

研究課題名	単孔式腹腔鏡下手術の成績の解析
研究の対象・期間	腹腔鏡下手術(大腸切除術、胆嚢摘出術、ヘルニア手術等)を受けられた患者様の匿名化されているデータを使用します。 研究期間:2017年5月31日~2025年3月31日
研究の目的	単孔式腹腔鏡下手術が開始されてから約10年が経過したが、いまだにその長所、短所が明確でなく、技術的にも統一化されていない。消化管(胃、小腸、大腸)や胆嚢、ヘルニアといった同手術の適応となる疾患に対し、我々が行ってきた同手術の成績を手術記録から解析することによって、同手術の意義や手法の正当性を検討する。
利用・提供する情報の項目	年齢、性別、手術部位、手術内容、手術時間、出血量など、手術記録から得られるデータ。
利用・提供方法	学会や講演会、学術雑誌といった媒体を用いて発表を行います。
利用する研究機関の範囲	東海中央病院においてのみ、利用いたします。
責任者	外科 日比健志
問い合わせ先	外科 日比健志 Tel:058-382-3101

もし、研究や情報の提供に同意をいただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。

なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。